

在宅での医療と介護を 考える講演会

国民の約4割の方が「自宅での介護」を望み、約6割の方が「最期を迎えるのは自宅が良い。」と考えている一方、実際には在宅ではなく医療機関や施設で亡くなる人が約8割という現状です。

本人・家族の望む生活を継続できるよう、“知る”ことで在宅での医療や介護に対する不安を軽減しましょう。



第一部 演劇

坂口健太郎一座による演劇 「渋柿が熟すころ」

地域医療に携わり、在宅での様々な看取りの経験に基づいた「健太郎一座」の演劇です。



第二部 講演会

Dr.イチローの 「粹、生き、逝きの心意気」

～住み慣れた地域で、自分らしいはっぴいえんど～



公益社団法人 地域医療振興協会
明日香村国民健康保険診療所
管理者・所長 武田 以知郎 先生

病院中心医療の中で、生活と切り離された患者として日々を送るのか？住み慣れた地域や自宅で、自分らしく暮らす中で治療を続けるのか？これからは病気や障害と向き合いながら自分らしい生き方を選択する時代となってきました。今回は住み慣れた地域で、イキイキと過ごし、自分らしい最期（はっぴいえんど）を迎えることができるよう、大切な選択についてみなさんと一緒に考え、地域丸ごとで寄り添える医療と介護の連携についてお話ししたいと思います。難しい話は苦手ですが、みなさんと一緒に考え、これからのみなさんの生き方に元気を与えられる楽しい時間になることを願っています。

ぜひ、ご参加ください！

開催日：12月 **22**日 **土**

開 場：13:00～

開 演：13:30～

場 所：紀の川市役所 南別館
4階ホール田園

入場
無料

※先着順のため、申込みは不要です。

※手話通訳があります。事前にFAXにてご連絡ください。

主催：一般社団法人那賀医師会在宅医療サポートセンター・紀の川市

お問い合わせは

在宅医療サポートセンター

紀の川市地域包括支援センター

TEL:0736-78-1011

TEL:0736-77-0350

FAX:0736-78-1021

FAX:0736-78-3315